

# チームごっくんニューズレター

## 嚥下機能に影響を与える薬剤について

私たちは一般に①食べ物を見てから認識をして②お口の中へ入れ③咀嚼をして③飲み込む(嚥下)まで一連の動作を通して食事をしています。

それら一連の動作を阻害する可能性があるものが、今回のテーマである「嚥下機能に影響を与える薬剤」です。食事をする一連の動作でどのような障害が起こるか、また具体的な代表する薬剤も一覧にしておりますので、参考にさせていただければ幸いです。現在飲んでいる薬や内服薬の変更があるときに確認して頂くと、食事での誤嚥や窒息の予防ができるかもしれませんね。

### 【摂食嚥下機能に影響を与える薬物】

摂食嚥下機能への影響	薬効分類等		一般名
意識レベルや注意力を低下させる	抗不安薬、睡眠薬		ジアゼパム、トリアゾラムなど
	抗うつ薬	三環系抗うつ薬	イミプラミン、アミトリプチリン
		SSRI	フルボキサミン、パロキセチン
	抗精神病薬	定型抗精神病薬	ハロペリドール、クロルプロマジン
		非定型抗精神病薬	リスペリドン、オランザピン
	抗てんかん薬		フェニトイン、バルプロ酸ナトリウム
	第一世代抗ヒスタミン薬		クロルフェニラニン、ジフェンヒドラミン
中枢性筋弛緩薬		チザニジン、バクロフェン	
唾液分泌低下(口腔内乾燥)を起こす	末梢性抗コリン薬		アトロピン、ブチルスコポラミン
	中枢性抗コリン薬		トリヘキシフェニジル
	三環系抗うつ薬、定型抗精神病薬		イミプラミン、アミトリプチリンなど
	第一世代抗ヒスタミン薬		クロルフェニラニン、ジフェンヒドラミン
	利尿薬		フロセミド
運動機能を障害する	錐体外路症状	定型抗精神病薬	ハロペリドール、クロルプロマジン
		制吐薬	メクロプラミド、ドンペリドン
		消化性潰瘍治療薬	スルピリド、クレボプリドリノゴ
	筋力低下	骨格筋弛緩薬	ダントロレン、チザニジンなど
		抗不安薬、睡眠薬	ジアゼパム、トリアゾラムなど
粘膜障害を起こす	非ステロイド系抗炎症薬		インドメタシン、イブプロフェン
	抗菌薬		ドキシサイクリン
	抗悪性腫瘍薬		フルオロウラシル、シクロホスファミド
	骨粗鬆症治療薬		アレンドロン酸ナトリウム